

切磋琢磨Ⅲ

R2.12.16 第36号

すべては目の前の子どもたちのために！ ～記述式アンケート結果より～

教育活動アンケート結果

寒い中、個人懇談会にご出席いただき、ありがとうございました。担任との懇談をとおして、お子さんの学校での様子や今後の課題等、有意義な時間になりましたでしょうか。

なお、5年生保護者の皆様には、今回懇談する機会をもつことができず、大変申し訳ありませんでした。2月に希望制で個人懇談会を開催する予定です。野外活動のビデオは、2月実施予定の授業公開日でお見せできればと思います。併せて、1月にご案内を渡します。

記述式アンケートより

任意でご提出いただいた記述式アンケートについて、すべて目を通させていただきました。たくさんの応援メッセージや貴重なご意見をいただき、心強く思いました。ご回答いただいた皆様、本当にありがとうございました。

以下は応援メッセージ、要望や改善案として出されたものです。一部抜粋して載せます。これらのご意見に関しての校長の思いも伝えさせていただく機会としています。

【応援メッセージ】

・今年度はコロナ禍の中、子どもたちのためにスポーツフェスタや本爺ラン等、先生方が考えていただけたおかげで、子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができました。保護者も大変楽しむことができました。子どもたちの発想力をかき立てるイベントでした。

・「中止する」という判断は容易かもしれませんが、楽しみがなくなり思い出も減ります。「何とか開催できないか」と前向きな考えをもっているところは、親として学びたいところです。きっと子どもたちにも先生方の思いが伝わると思います。

・大変な状況の中、イベントを削らずに開催していただいたことに感謝いたします。

・運動嫌いの息子が「運動会が楽しみなんてはじめて！」と言って家を出ました。これだけでも本当にうれしかった。

・コロナ禍の中、子どもたちの可能性につながる行事等、楽しみ、やる気、自信などの成長を感じます。

・二川小は自由な部分が多いと感じます。宿題にしても、子どもも強制されている感がなさそうで、学力の低下もあまり感じられない。これからは「二川小らしさ」で学校生活を送れたらいいです。

・年度初め休みが続き、子どもリズムが崩れてしまい、毎日ゲームとTVの生活でした。親の私でさえ戸惑いましたが、先生方のおかげで今は元気に通うことができます。先生方に励まされ助けられています。

・来年も「ファンラン」はやってほしいです。コロナ禍でもいろいろと試行して新しい様式にして、大変かと思いますが、スポーツフェスタに続き、本爺ランでも楽しむ姿を見られてよかったです。

・子ども自身が楽しく取り組む姿、先生方も一緒に楽しんでいる姿を微笑ましく思いました。制限されているなかでうまく考えながら、できることを考え、人の話を聴き、実行する。とてもよい経験になっているのではないかと思います。多様化する社会で、自分で考え、生きていく力を身につけてほしいです。

・半日のスポーツフェスタを初めて見ましたが、子どもたちの普段に近い顔を見ることができたように思います。例年の運動会は体調に気をつけていましたが、今回のように短い時間だと安心ではと思いました。親の立場からみても、日程の調整や準備という点でだいぶ楽になります。これからも「前年度同様に」というやり方ではなく、その時に応じた対応をとってほしいと思います。

・マラソン大会も、市民マラソン等世間がイベント化して楽しんでいる中、学校でのマラソンがいつまでも昔と同じというよりも、今回のように新しいやり方を取り入れてもっと楽しかった思い出を子どもたちや親に残してもらいたいです。

・野外や修学旅行もなんとか実施していただき、子どもはとても喜んでいました。コロナで我慢する日々ですが、とてもいい思い出ができました。工夫して実施して下さったことに感謝です。

・野外の代わりに行事も、話し合いながら準備等々、子どもたちの意見を取り入れてもらいながら、家に帰って話をしてくれているときの嬉しそうな顔、考える姿勢が印象的でした。

・先生方も体と心を大切に。元気な先生方に子どもたちも励まされて育っていきます。保護者の手が必要な時は、ぜひ声をかけていただきお手伝いさせていただきたいです。

・ここ数年二川小本当にいいなあと感じていました。今年はコロナ禍をジャンプ台にして花開いたと思いました。先生方の「学校って楽しいよ！人生って楽しいよ、おもしろいよ！」というメッセージを強く感じ、効率よく伝える細かい工夫に毎度感動しています。

【今までのような形式が良かったというご意見】

・二川小学校は順位をつけたがらない傾向があるのではないのでしょうか？（徒競走やルー、持久走大会を廃止したことから）

・今までのような「運動会」「持久走」の形式のほうがよかったです。運動の苦手な子でも頑張っただけでも走りきることは大切だと思う。

・辛いことへ向き合うことも経験したほうがいいのかはとも考えます。自分の目標をもって完走するマラソン大会を開催してほしい。

・今までのような王道の運動会も見てみたい。学年ごとの成長が見られる瞬間です。

【スポーツフェスタや本陣ランについての回答】

今年度、全職員で話し合い、体育的行事の第一目標を「運動を楽しむ」ことに設定しました。「体を動かす」ことは、生涯健康に暮らすために必要なことです。その入り口となる小学校教育において「体を動かすことの楽しさを知る」ことは、将来にわたって「運動を親しむ」ことにつながると考えています。小学校での楽しい経験が今後の人生の土台となっていることもよく耳にします。

一方、「二川ギネス」や縄跳びカードのように、個人が記録や目標に挑戦するという形式も行っています。それぞれの運動に対する意欲関心や能力に応じて、目標を定めていくことで、自分で考えて判断すること、目標に向けて粘り強く取り組むことにつながります。

もちろん「順位づけ」による効果も十分にあると思いますが、①結果(人と比べて)よりも、過程(今までの自分と比べて)を大切にしていきたい

②個々が目標を決めて意欲をもって取り組ませたいという思いから、今回の体育的行事では全員の順位づけをしませんでした。

「運動会」には、明治からの長い歴史があります。本校でも、体育的な発表の場と位置付けて実施してきました。種目は競技種目(徒競走やリレー、騎馬戦等)と表現種目(ダンスや組体操等)の2種。保護者や来賓へりっぱな発表を見せるために、統一感や完成度を求めて指導していました。そのため、体育の授業時間の多くを練習にあて、先生方は完璧さを子どもたちに求めました。子どもたちは、自分たちで考えることなく言われたことを上手に実行しました。

徒競走やリレーの1位は努力を積み重ね、ようやく勝ち取ったものでしょうか。それなら意味のある1位ですが、該当するのはほんの一部の子です。ほとんどの子は自身も持っている運動能力と数回の練習で順位がつけられていきます。

今までの「運動会」を新学習指導要領の学力論から見るとどうでしょう？子どもたちは教師の指示通りに動いています。おのずと指示がなくては動けない子になっていく。自ら何かを学ぶという新たな時代に必要な力には程遠いものです。その問題を焦点化し、時間をかけて協議してきました。

運動会はだれのためにあるのか？主役は子どもたちのはず。子どもたちが「やらされる」運動会ではなく、楽しみながら、運動をする姿をめざすことが、この体育的行事であるべきだ等々。さらに、今年はコロナ対応も加え制限ある中でできることを何度も案を修正しながら今回の「スポーツフェスタ」「本陣ラン」の形式を作り上げました。初の試みですので、来年度に向けて改善余地はたくさんあります。

ご指摘のあった「我慢する」ことは、これからの人生において必要なことです。それは、自分の向上や社会の幸せのために使ってほしい。自分の意思もなく、みんなと足並みを

そろえるに「我慢する」のではなく、自分がよりよく生きるため、周りの人々が幸せになるために「我慢する、粘り強く取り組む」人になってほしいとの願いから、日々取り組んでいます。

学校文化には、かなり古い形式のものがたくさん残っています。今年、奇しくも「コロナ危機」で、教育が大きく変わるチャンスをもたらした年でした。今までの慣例が本当に子どもたちにとって必要なものかどうかを見直す良い機会です。

この学校の新しい取り組みが、「ブーカの時代」に必要な「生き抜く力」につながるという信念をもちながら、まだまだ「二川小学校文化の進化」はスタートしたところです。

【検討&改善案】

・本陣ランやスポーツフェスタの時間配分を考えるべきだと思う。ファンランの時間が長すぎて、トライアルの子が疲れてしまうので、逆にしてはどうでしょうか。

・予定時間が変更になるときは、メール等で伝えてほしい。密をさけるためにその時間に合わせて行ったらもう終わっていて残念だった。本陣ランについて学校からの説明が不十分。早めに日程を教えてほしかった。

・タイムトライアルのスタートの並び方は再考してほしい。応援する場所も邪魔にならないようにしてほしい。

・本陣ランの仮装は過剰になるとトラブルになるかも。

【来年度実施に向けて】

貴重な意見をありがとうございました。これらの行事については子どもたちのアンケートも実施し、その意見も参考にし、来年度に向けて修正をしていく予定です。子どもたちとともに、実り多い行事を創り上げていきたいと思えます。

子どもたちが輝く学校を創りたい

【その他の質問・ご意見】

Q1:トイレの改修工事の計画はありますか。あまりにも汚くて、かわいそうです。トイレを我慢していることもあります。

A1:豊橋市には数年にわたり要望を出し、前市長や教育長にも視察していただきました。子どもたちが生活する環境を改善できるよう、校区自治会の後押しもいただきました。北校舎トイレの改修や南校舎の雨漏り修繕工事を強くお願いしています。年度末には、その進捗状況をお伝えします。

Q2:先生方の感染症予防に対する意識を高めていただきたい。マスクの着用の仕方、マスクを着用していない児童や保護者への声掛けがなく、とても心配です。命を守ることにつながる行動を先生方が率先して行い、手本となっていきたいです。

A2:その通りです。緊張感が少し薄れてきてしまっているのかもしれない。陽性者が多数出ている現状を踏まえ、教師の意識向上と児童への指導に努めます。

Q3:子どもの挨拶は目が合うとできる子が増えてきた。先生の挨拶がない時もあり、残念に思う。

A3:率先垂範。あいさつは先生からすすんで行うようにしているつもりですが、まだまだですね。ご指摘いただきありがとうございました。すすんで挨拶を心がけます。